



# 失敗しないシステム構築 プロジェクトの戦略と方法

～システム構築のカンドコロ。

経営層とユーザを巻き込む説得術を徹底討論～



# 経営層と情報システム部門の 管理職とのギャップはなにか

～経営現場、情報システム現場双方の本音トークから、  
これからの情報システムの「やるべきこと」を徹底討論～

- **パネルディスカッションメンバー紹介**
- **ディスカッション**
  - **テーマの再確認**
  - **経営と現場、それぞれの課題・悩み**
  - **ITの現状と、今後のIT部門のあるべき姿**
  - **ギャップを埋めるためには**

# パネルディスカッションメンバー

**【モデレーター】**

**システム管理者の会 オブザーバー**

**「システム管理者の眠れない夜」(IDG / 技術評論社) 著者 柳原 秀基 氏**

**【パネラー】**

**エグゼクティブフォーラム座長**

**PFUライフエージェンシー株式会社 ITサービス事業部**

**小玉 稔 氏**

**株式会社日本公文教育研究会 IT戦略室 室長**

**鈴木 康宏 氏**

**大成ロテック株式会社 常勤監査役**

**木内 里美 氏**

**株式会社日本経営 情報システム部 次長**

**岡 倫宏 氏**

## モデレーター紹介

### 柳原 秀基

Twitter : @Hide3 / Facebook : Hideki Yanagihara

- 1979年 久保田鉄工株式会社(現:(株)クボタ)に入社。製造管理、設備管理を経て、生産管理システムやSCMシステムの構築・運用に従事。
- 1994年 Windows Server World誌を中心に、システム管理者の生態を綴るエッセイ「システム管理者の眠れない夜」を執筆。2000年から単行本化を続ける。
- 1997年 ユーザグループ NT-Committee2 による勉強会を開催
- 2003年 大阪市立大学大学院へ進学  
PCネットワークの管理・活用を考える会 分科会座長
- 2006年 大学非常勤講師  
(大阪成蹊大学、帝塚山大学、近畿職業能力開発大学校)
- 2007年 システム管理者の会、オブザーバ
- 2008年 (株)エスアールアイ、顧問

情報社会論、リスク社会論に夢中



## 日本最大規模の システム管理者のネットワーク

発 足：2009年3月

個人会員：8,633人※

賛同企業：109社※

U R L：<http://www.sysadmingroup.jp/>

# 組織と活動体系

システム管理者の会

システム管理者の会 推進委員会

システム管理者の会 賛同企業

システム管理者の会 事務局

## システム管理者認定講座



国内初！システム管理者を対象に開講！  
全日本能率連盟登録資格 第125号、126号、127号

## マネジメントカンファレンス



マネージャー・部門長を対象に開催！  
セミナーやディスカッションを東京、大阪、名古屋で開催

## システム管理者感謝の日



システム管理者の会最大のイベント！  
基調講演や活動紹介、シークレットライブと満足度200%

システム管理者の会ポータルサイト



# 推進委員

システム管理者の会は、  
ITシステム運用を支える全ての人達の役割と  
その価値を創造します。



推進委員

松田 栄一(新任)  
NTTコムウェア(株)



推進委員

沼倉 正(新任)  
国分(株)



推進委員

足立 伸男  
第一生命情報システム(株)



推進委員

伊藤 春男  
(株)フジテレビジョン



推進委員

石毛 幾雄  
山崎製パン(株)



推進委員

増田 栄治  
(株)ビーエスピー

※写真左から

- |       |      |  |
|-------|------|--|
| 松田 栄一 | 推進委員 | (NTTコムウェア株式会社 取締役 サービス事業本部 サービスプロバイダ 部長) |
| 沼倉 正  | 推進委員 | (国分株式会社 情報システム部 兼 営業推進部 副部長)             |
| 足立 伸男 | 推進委員 | (第一生命情報システム株式会社 取締役常務執行役員)               |
| 伊藤 春男 | 推進委員 | (株式会社フジテレビジョン 情報システム局次長 兼 システム業務部 部長)    |
| 石毛 幾雄 | 推進委員 | (山崎製パン株式会社 計算センター 室長)                    |
| 増田 栄治 | 推進委員 | (株式会社ビーエスピー 取締役 専務執行役員)                  |



## パネラー紹介①

### 鈴木 康宏 氏

#### 株式会社日本公文教育研究会 IT戦略室 室長

1988年(株)三和銀行入行(現三菱東京UFJ銀行)奈良県王寺支店で営業担当後、1989年よりシステム部(東京)勤務。証券システム、国内共通基盤、全海外支店を結ぶグローバルシステム会計部門等を担当。1995年同行システム部(大阪)に異動、部長代理として口座振替システムなどを担当。2001年に東海銀行との合併準備のため(株)ユーフィットに出向。2002年UFJ銀行事務企画部調査役、総務部調査役などで不動産売買担当。2003年に日本公文教育研究会に転職。2004年同社IT戦略室システム開発チームリーダー。2006年同社IT戦略室次長。2009年同社IT戦略室室長。(現職)

## パネラー紹介②

# 木内 里美 氏

## 大成ロテック株式会社 常勤監査役

1969年に大成建設に入社。土木設計部門で港湾などの設計に携わった後、2001年に情報企画部長に就任。以来、大成建設の情報化を率いてきた。講演や行政機関の委員を多数こなすなど、CIOとして情報発信・啓蒙活動に取り組む。

## パネラー紹介③

**小玉 稔 氏 / エグゼクティブフォーラム座長**

**PFUライフエージェンシー株式会社 ITサービス事業部**

1985年、PANAFACOM (PFUの前身) に入社。社内では少数派のCOBOLユーザとして、フィールドSE業務を担当。

その後は主として、業務アプリケーションの開発／サポートを担当。

- ・ インク工場向けの生産管理システム
  - ・ 化学工場向け実績管理システム
  - ・ 鉄骨加工業向け原価管理システム
- 等

社内向けWeb ベースシステムの開発を経て、現在は社内SE向け損益管理システム等 社内業務用システムの運用管理を担当。

### 岡 倫宏 氏 / システム企画研究会座長

### 株式会社日本経営 情報システム部 次長

1995年、会計事務所を創業母体とする医業経営コンサルティングファームである株式会社日本経営に入社。会計事務所部門を経て、保険代理店・FP部門の立上げに携わる。2004年、グループ全体の情報システム再構築プロジェクト推進のため、情報システム部門へ。情報セキュリティ体制の構築、社内情報システムの刷新、運用などを担当するほか、顧客への業務パッケージ導入やネットワーク構築に従事。2006年に情報セキュリティ委員会の実務を統括、2010年より社内情報システム部門を統括している。現在はGoogleApps、iPhone/iPadの全社展開とBYO体制構築に取り組んでいる。

# 経営層と情報システム部門の 管理職とのギャップは何か

## テーマの再確認

### ● 経営層

- 社長、役員(CIOを含む)

### ● 情報システム部門の管理職

- 情報システム部の部課長クラス

### ● 両者のギャップ

- 共通の目標と戦略を持っているか？
- 共通の言葉で議論しているか？
- 共通の尺度で情報システムを評価しているか？
- お互いに「こうあってほしい」という姿の齟齬
- アンケート結果を参照

## 経営層の悩み

- **適切なIT投資なのか？**
  - わが社の経営課題解決に役立っているのか？
  - 導入コスト，運用コストは適切なのだろうか？
  - 技術用語が多すぎてシステムを理解できない。
- **情報システム部門の構成は適切なのか？**
  - 情報システム部門はいつも人手が足りない，予算が足りないと言う。本当か？
  - 外注化でコストダウンできるのでは？
  - システム障害が時々起こる。部門の能力不足か？



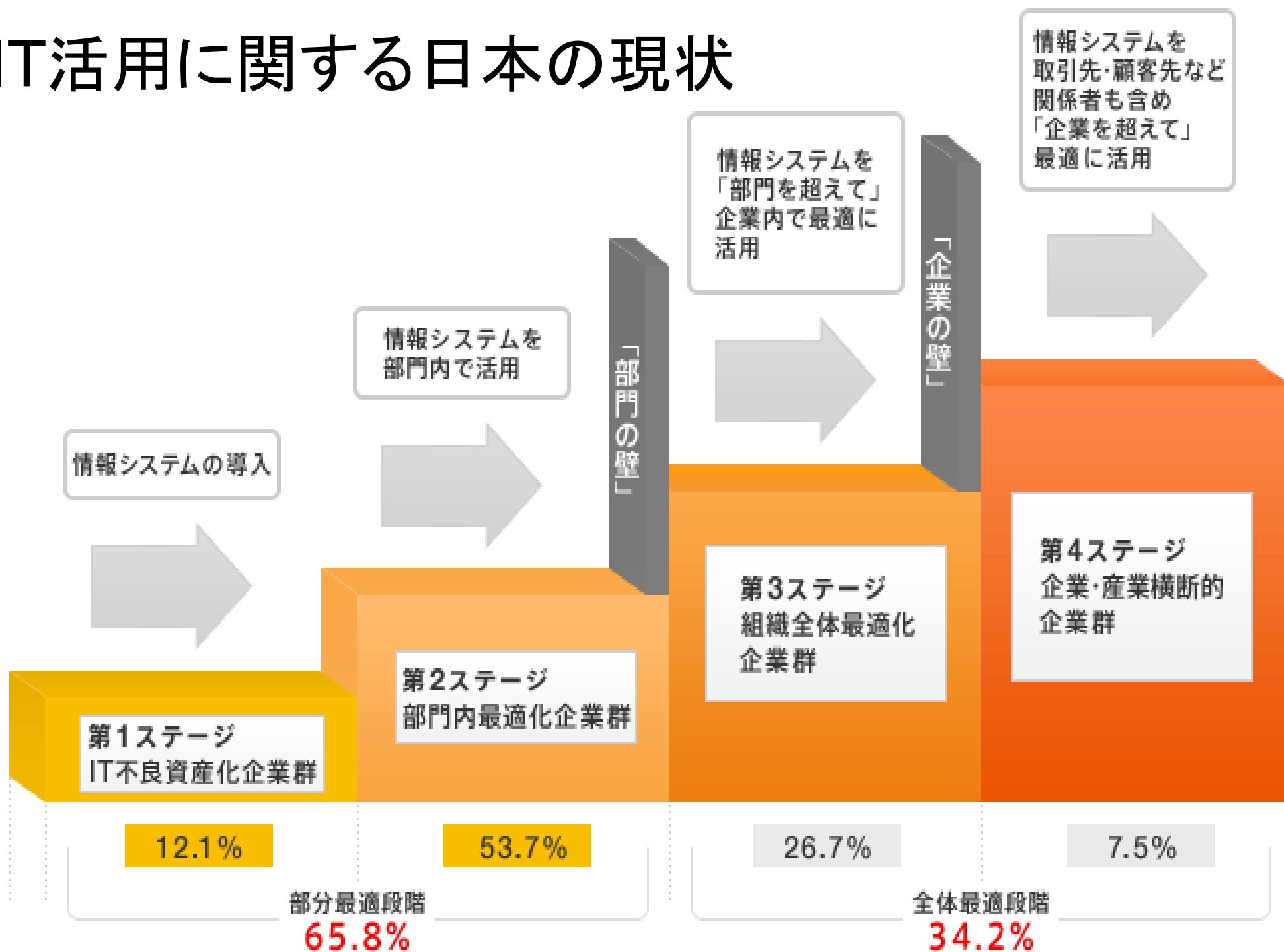
# 情報システム部門管理職の悩み

- ITの話になると社長やCIOから丸投げされている。
- 全体最適を狙って社内に横串を入れるシステムを提案しても、そのコストを見ただけで却下される。
- 部門内に、社内全体を理解している社員がいない。
- トラブルを恐れるあまり、安定志向になりがち。
- 社内独自の運用スキルばかりで、キャリアアップにつながるのかわろ不安だ。

# IT経営力指標 （経済産業省 > IT経営ポータル）

- 1. 経営戦略とIT戦略の融合
- 2. 現状の可視化による業務改革の推進とITの活用による新ビジネスモデルの創出、ビジネス領域の拡大
- 3. 標準化された安定的なIT基盤の構築
- 4. ITマネジメント体制の確立
- 5. IT投資評価の仕組みと実践
- 6. IT活用に関する人材の育成
- 7. ITに起因するリスクへの対応

# IT活用に関する日本の現状



## 議論の切り口

- ITによって目指す姿は共有できるだろうか？
- 具体的な「あるべき姿」を描くには？
  - IT経営力指標は参考になるだろうか？
  - 経営層とIT専門家をつなぐコトバ
- 共有のための仕組みを議論したい
  - 社内勉強会, 社内SNS
  - コミュニティ・オブ・プラクティス

# お申込時アンケート結果

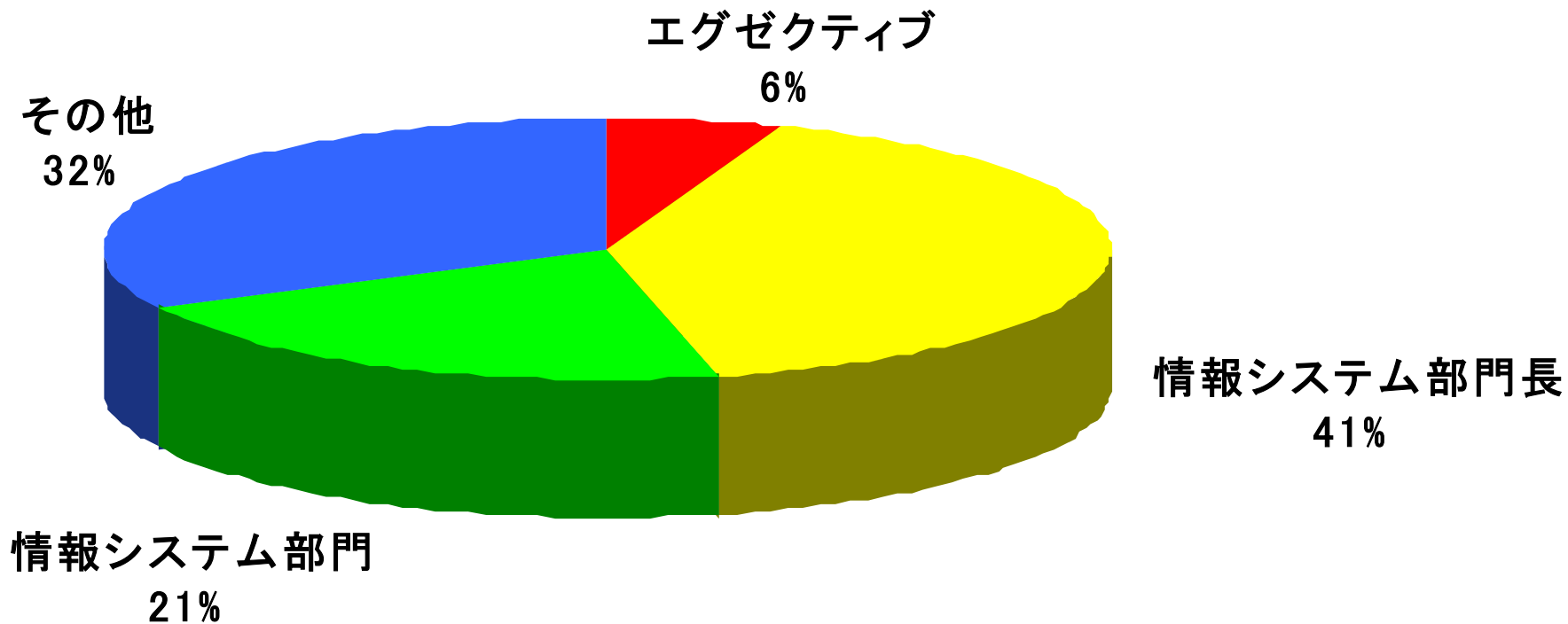
## 【はじめに】

※本アンケートはPCネットワークの管理・活用を考える会エグゼクティブフォーラム(東京・大阪)を弊社サイトよりお申込頂いた方に対し、行ったものです。

- 有効回答数: **70**名 (内 東京32名/大阪38名)

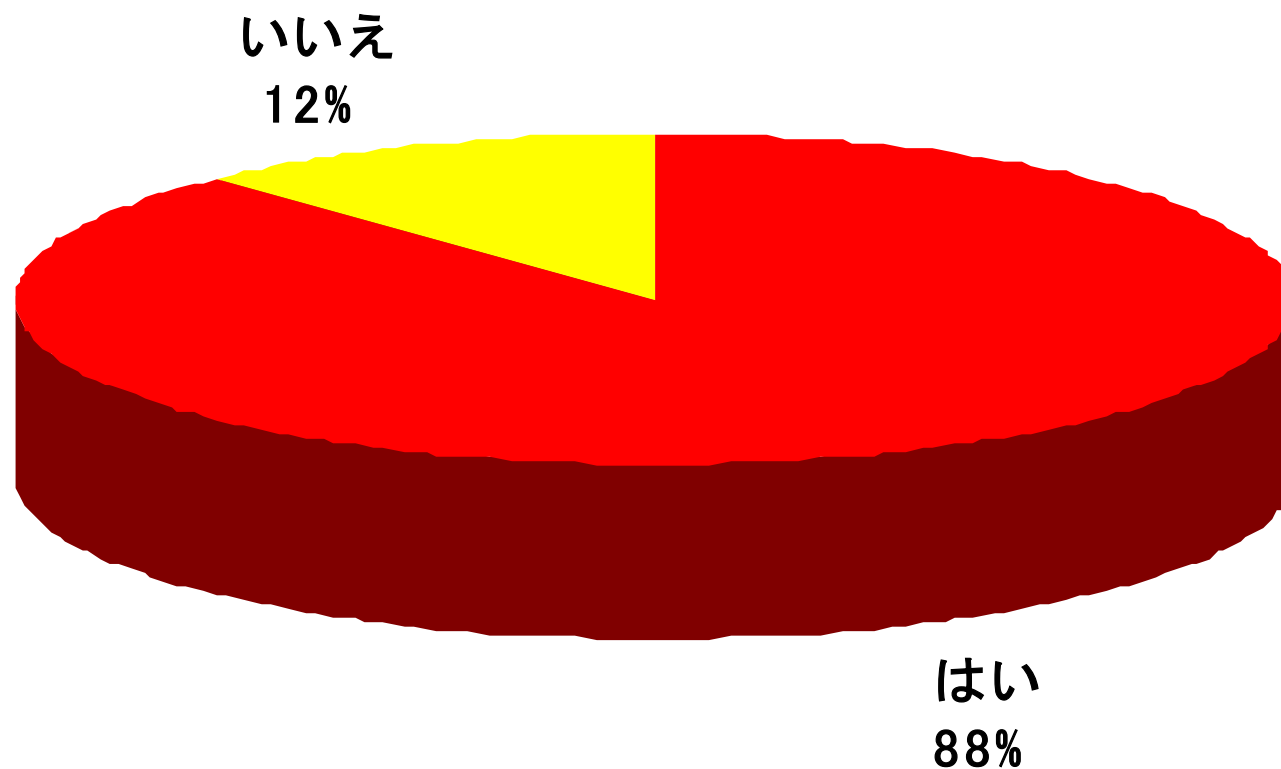
# 申込み時アンケート結果①

Q:お客様のお立場は？



## 申込み時アンケート結果②

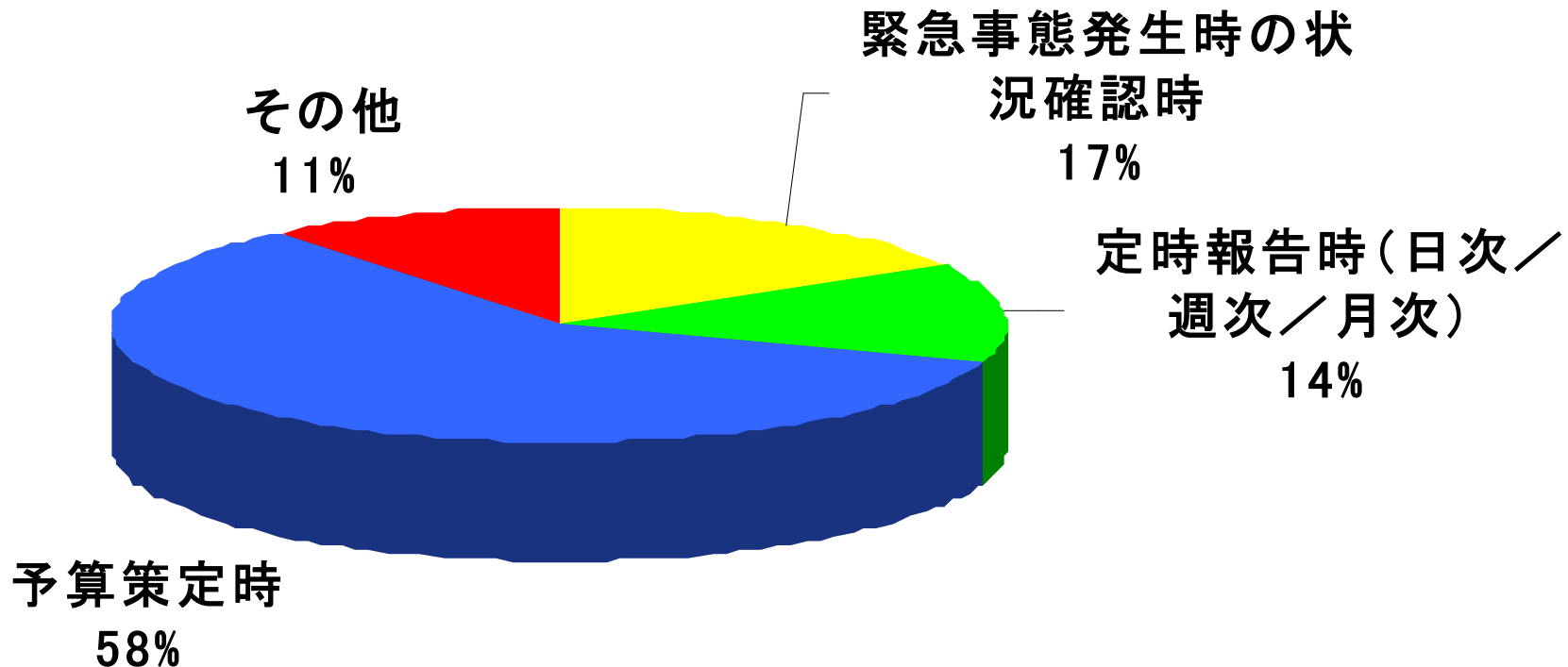
Q1:企業の情報システム運用管理について、現場と経営層でギャップを感じたことはありますか？





# 申込み時アンケート結果③

Q2:Q1で「ある」とお答えの方、どのような場面で感じましたか？

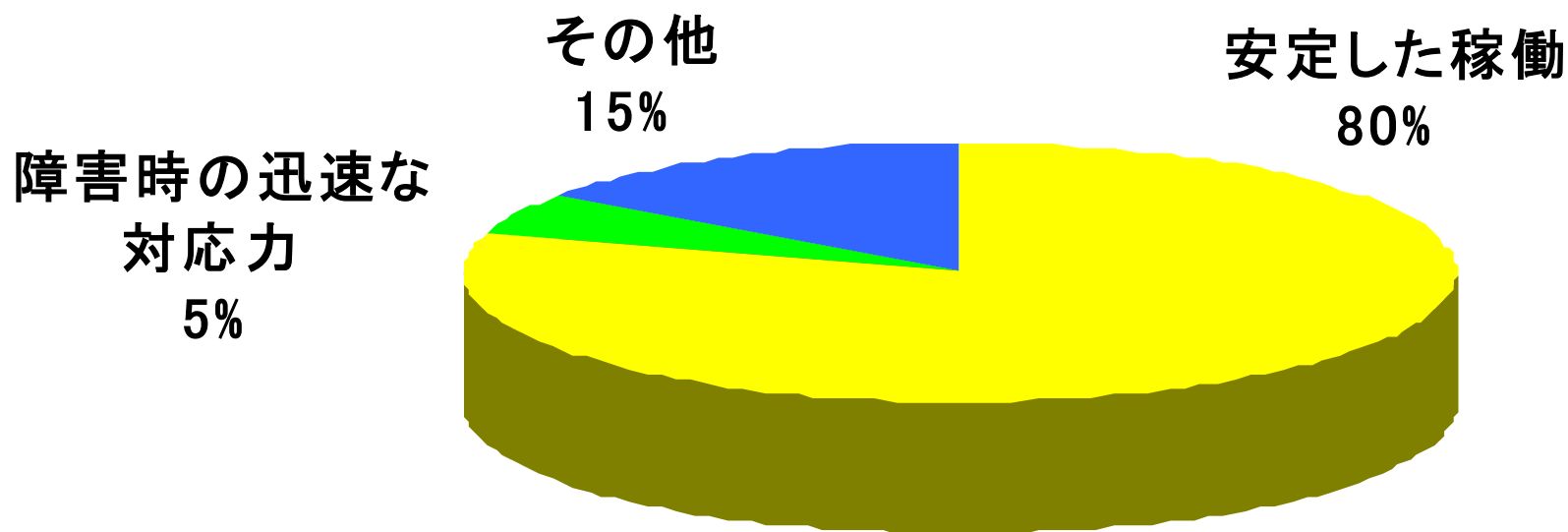


## 申込み時アンケート結果④<その他コメント>

- リスクアセスメントの際に、現場が許容レベルを超えたリスクを報告したがない時
- 経営層に情報システムを提案する際に、情報システム部門が予算のかかる提案をしたがない時
- 仕様確認したにも関わらず、前提を覆す変更の指示・方向性、具体案のないままのコスト削減指示
- 経営層の認識が薄い
- 情報システムはお金ばかりかかるものと認識されている
- IT監査

# 申込み時アンケート結果⑤

Q3-1【経営サイドの方】:情報システム部門の成果に対して期待するものはなんですか？

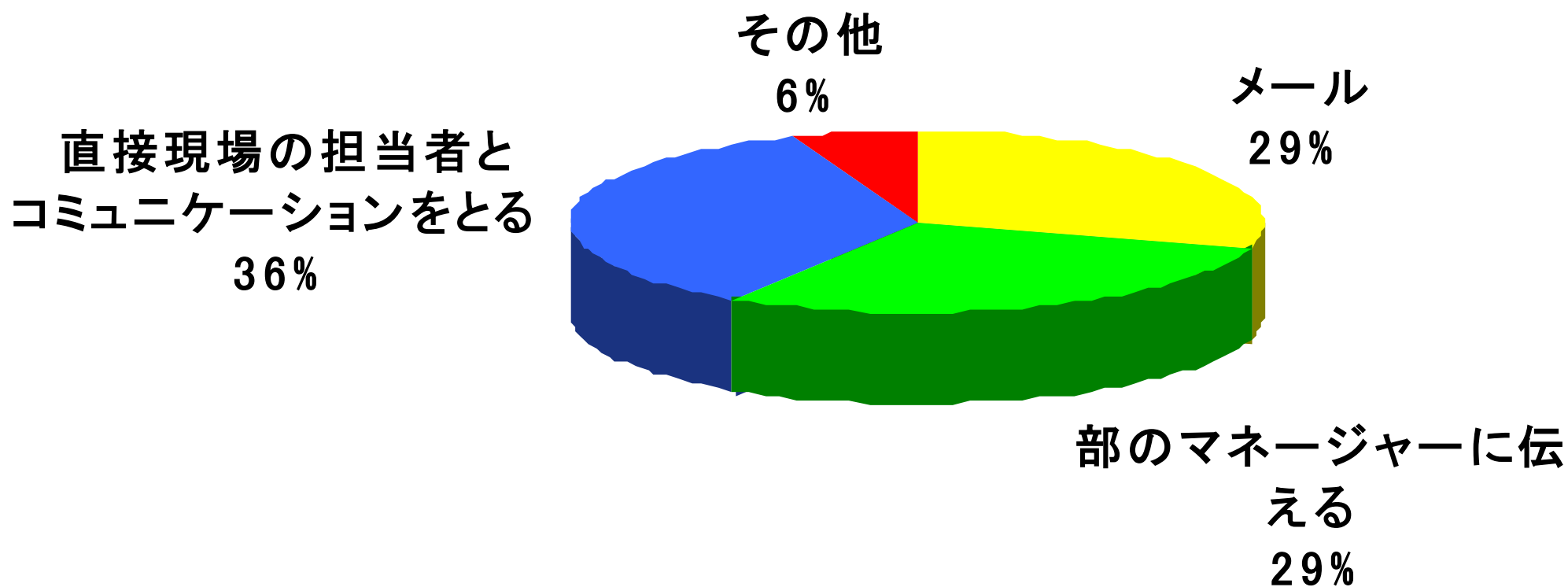


その他コメント:

- 次を見据えた準備活動

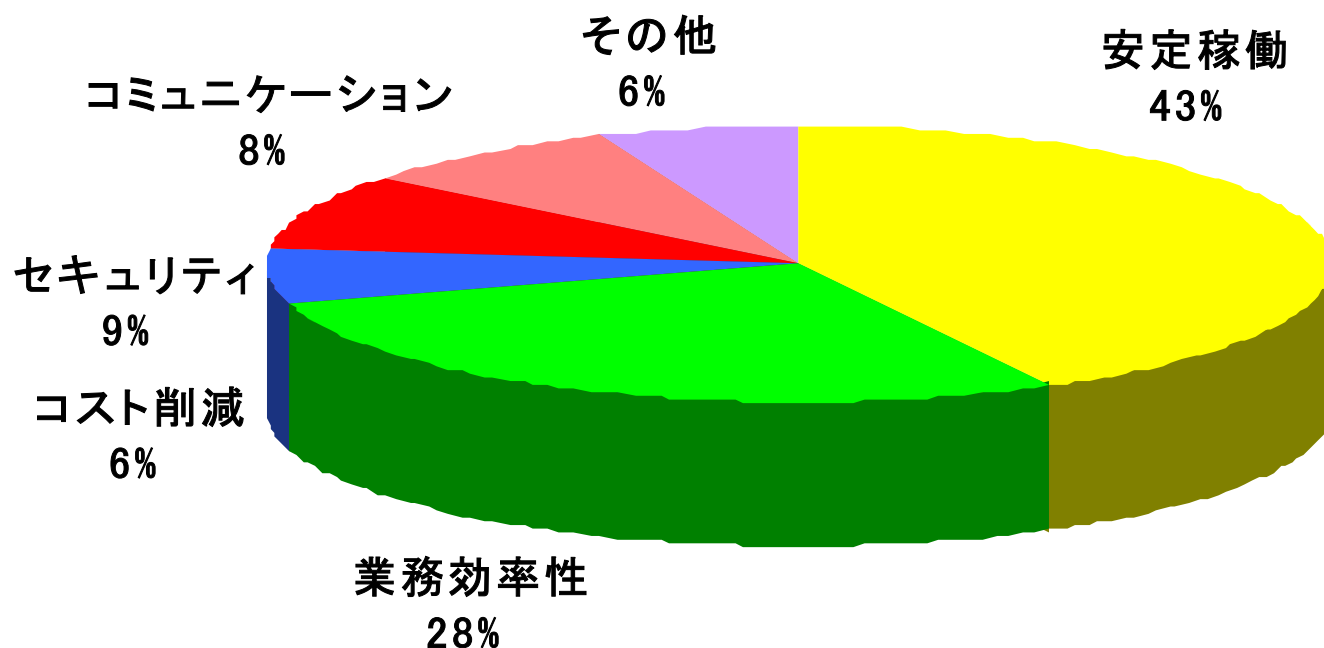
## 申込み時アンケート結果⑥

Q3-2【経営サイドの方】:その期待は、主にどのような形で情報システム部門に伝えていますか？



# 申込み時アンケート結果⑦

## Q4-1【情報システム部門の方】:情報システム部門の活動方針として、最も重視しているものは何ですか？



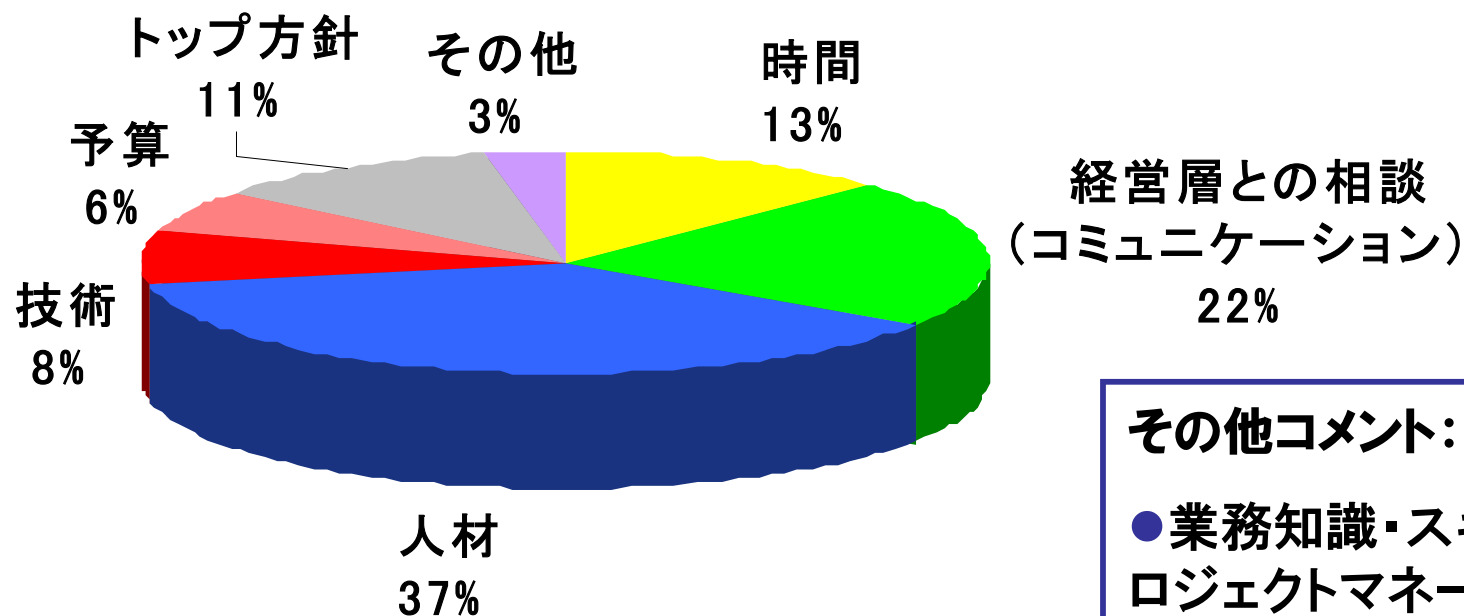
### その他コメント:

●経営方針に柔軟に対応できるシステム 安定稼働、セキュリティ確保、コスト最小化は当然あるのが前提

●経営方針に基づくシステムの構築・メンテナンス

# 申込み時アンケート結果⑧

Q4-2【情報システム部門の方】:その方針を実行していくために、最も足りないと考えるものは何ですか？



**その他コメント:**

- 業務知識・スキル、並びに、プロジェクトマネジメント能力
- セキュリティに関するモラルが欠けていると感じています。